



NPO法人 横浜金沢文化協会会報

NPO法人 横浜金沢文化協会
編集人 野中 建吾
☎ 781-5044
発行人 橘川 和夫
理事 幸栄印刷(株)
印刷 ☎ 716-3366

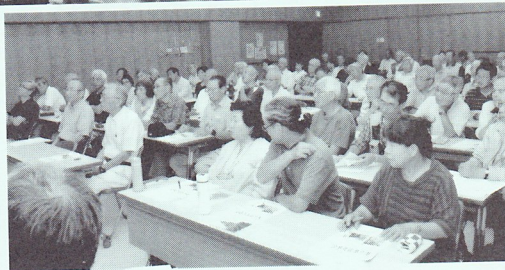
☆ 予 告 ☆
「横浜金沢文化協会
20周年記念事業」
のお知らせ
詳細は、最終ページを
ご覧下さい。会員の皆様
には是非ともご参加のほど
お願い申し上げます。

「NPO法人横浜金沢文化協会設立20周年記念企画」 金沢の歴史講演会 「廃仏毀釈と金沢」



平成26年6月28日(土)午後1時30分から、金沢地区センターにて、富岡の真言宗花翁山慶珊寺住職・佐伯隆定氏に、「廃仏毀釈と金沢」と題する歴史講演をしていただいた。佐伯氏は昨年、『武州富岡史話』を出版され、歴史を学ぶ者に貴重な資料を提供されていた。今回の講演

のタイトルは、その著書の中の「神仏分離」の項で述べられており、仏教界に大打撃を与えたこととして研究されたとお聞きして、決めていただいた。神仏分離令によって起こった「廃仏毀釈」は、地域によって状況は様々で、全国的な統計はなく、規模の大きかったものなどが資料として残されているとのこと。金沢を含む鎌倉文化圏では、鶴岡八幡宮の例を挙げられ、わずか数日で仏教関係の建物、仏像が破壊されたことなどを、当時の写真などをもとに話された。さらに、僧侶が僧職を喜んで捨てたことなどを嘆かれていた。興味深い講話が続き、宗教と言う側面から歴史を見る面白さを実感させていただいた。ボードを活用しての講話で長時間、多くの聴衆を惹き付けた佐伯氏の話術は素晴らしいものであった。



加藤 尚顧問 ご逝去哀悼

横浜美術協会(ハマ展)会長の後、金沢区美術協会設立会長として、長年NPO法人横浜金沢文化協会に多大な貢献をされた顧問の加藤尚氏が4月24日、ご逝去されました。享年86歳。ここに謹んで哀悼の意を表しますとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。
合掌
NPO法人横浜金沢文化協会一同

NPO法人 横浜金沢文化協会 通常総会

5月25日(日)午後1時から、金沢産業振興センター大会議室で、平成26年度総会を開催した。司会 は坂事務局長、会員総数139名中、委任状を含め114名が出席。 橋川理事長の挨拶、来賓の林金沢 区長と区議員団を代表して国吉 会議員の祝辞があった。議長には、 野中副理事長が選任され、議事は 次の通り進化した。



- 第1号議案 平成25年度事業報告並びに収支計算報告、会計監査報告
 - 第2号議案 平成26年度事業計画案並びに収支予算案
 - 第3号議案 任期満了に伴う役員選任等の件
 - 第4号議案 事務所移転に伴う主たる事務所所在地変更の件
- 以上、各議案とも異議なく承認された。議事終了後、新任役員紹介、退任役員表彰等の後、午後2時30分無事終了した。

文化伝承事業

塩田による塩づくり教室

第13回「塩田による塩づくり教室」が、平成26年7月19日(土)と7月27日(日)に実施された。当教室は、本協会会員を中心に結成されている「塩田による塩づくり実行委員会」が金沢区より委託を受けて行っている。初日の7月19日は午前9時より区役所中庭会議室で、参加小・中学生が「金沢区での塩づくり」「塩の作り方」等についての説明を聞き、資料映像や昨年度の記録で、歴史や作業の概略を学習した。その後、参加小・中学生22名が3グループに分かれ、スタッフの指揮の下「塩の道を歩く」に出発。当初の予定通り「朝夷奈切り通し」を越え、鎌倉の光触寺・塩嘗地蔵までのコースを歩き、往時の塩運びの様子に思いを巡らせた。2日目の7月27日(日)は晴天に恵まれ、海の公園バーベキュー場側砂浜に小・中学生33名、保護者19名、スタッフ29名が参加。砂浜に塩田を4面設置。海水汲み、海水散布、畝づくりを2回繰り返し、鹹砂(かんさ)の濾過(ろか)、鹹水(かんすい)採取、煮詰め、ニガリ抜き等の一連の作業をスタッフのリード



2014/07/19

で実施。参加した小・中学生にとっては、初めての体験であったが、手際よく作業を終えた。煮詰めの作業中に昼食を取り、その後西瓜割りも行なって、自作の塩をかけて食べる子もいた。大きな事故や熱中症もなく4班とも予定通り良い塩を採取し、皆で分け合い、2時過ぎに無事解散した。



横浜金沢写真連盟 大撮影会と写真展



5月17日(土)、炎暑の中、横浜金沢写真連盟の第1回モデル撮影会を横浜八景島シーパラダイスで行いました。

モデルは、美しく個性の異なる二人。モデル撮影は初めての方が多く、皆ワクワク、ドキドキ、二手に分かれたり一緒になったり、楽しみました。

その頑張った成果を、8月20日(水)から26日(火)まで、杉田劇場で披露しました。

34名66点の作品は、見る人に状況や心情が伝わる素敵な写真でした。またモデルさんも見に来て下さり華やぎました。

来年5月には、第2回横浜金沢写真連盟公募展を開催します。国内、海外を問わず、幅広い自由作品部門と金沢部門です。

ヨコハマ金沢フォトコンテスト 表彰式と展示会

横浜金沢観光協会主催の第6回ヨコハマ金沢フォトコンテストを、今年ではテーマを二部形式に変更、金沢の四季彩々第一部《風景の部》第二部《歳時記の部》として行いました。

審査は、元神奈川新聞社映像部長大河原雅彦氏他、横浜金沢写真連盟理事3名、林琢己金沢区長、横浜金沢観光協会会長が当りました。

毎年、称名寺の作品が大かたを占める状況でしたが、今年は今までと異なる被写体に挑戦された方が多く、また雪も沢山降り、目新しい作品に出会えました。

最優秀賞は、風景の部で、「雪化粧」原田さち子氏、歳時記の部で、「湯立て神楽の夕べ」塩川幸久氏が受賞しました。入選作品は、各地区センター、区役所に巡回されています。



金沢吹奏楽団

第43回定期演奏会

かなすい第43回定期演奏会を6月29日(日)、鎌倉芸術館で開催した。第1部の吹奏楽オリジナル曲は、昨年から指揮を願っている岩田晴之先生に、日常の練習から援助頂き纏め上げて頂いた。第2部恒例のポップスステージは、5月にご逝去された岩井直溥先生に代って、波田野直彦先生が新しいカラーのポップスステージを作って下された。演奏会直前に岩井先生が亡くなられ、大きなショックを抱えての演奏会であったが、「演奏会はお客様に楽しんで頂かないとダメだよ。そのためには演奏者も楽しまなくっちゃ!」と岩井先生が何時も言われていたことを思い出しながら、来場者と共に楽しい演奏会とすることが出来た。次回は11月30日(日)、金沢公会堂でのクリスマス・チャリティー・コンサート。ちょっと早めですが、皆様と一緒にクリスマスを楽しみましょう。今後とも

皆様に支えられつつ、楽しい演奏会を続けて参りますので、ご支援のほどよろしくお願い致します。



第6回金美協展



第6回金美協展(金沢区美術協会会員展)が、6月3日(火)から6月9日(月)まで、神奈川区民文化センター3階「かなつくホール・ギャラリー」にて開催されました。この美術展は金沢区美術協会に所属する会員(現在97名)を対象にしたものです。出品者数が57名、出品数84点と、約6割の方が参加されました。ジャンル別の出品数は、油彩が21名26点、水彩が26名43点、水墨が6名9点、パステルその他が3名5点、彫刻が1名1点と言う内容でした。作品のレベルも年々向上し、来場者からも「素晴らしい作品が多い」と高い評価を戴きました。会場がJR東神奈川駅、京急仲木戸駅からそれぞれ1分と言う便利さもあり、来場者数も630人を超え、特に他区からの来場者も多く、金沢美術協会のレベルの高さを広く認識して頂くことが出来、成功裡に終了しました。

写真個展

木村路子会員の

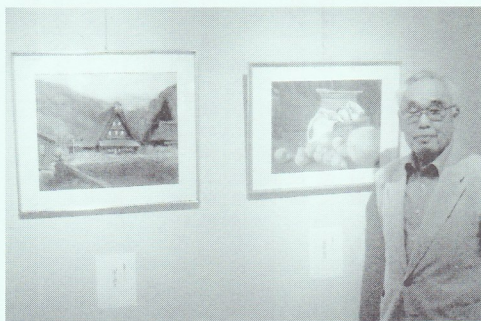
6月30日から7月11日までの約2週間、横浜金沢文庫郵便局内「君ヶ崎ギャラリー」に私の撮影した風景写真3枚を展示させて頂きました。以前にも、「女性6人展」「女性3人展」を飾らせて頂いております。今回展示した作品は、「日光のくりん草」1枚と「初夏の上高地」2枚でした。このギャラリーは交通の便も良くそしてお客さんが多い郵便局内にあり、大勢の方々が作品を目にされますので、展示しても張り合いがあります。このギャラリーを提供して下さる局長様はじめ局員の皆様に深く感謝申し上げます。



枇杷橋和廣会員の

パステル画 個展

5月7日より一週間、金沢文庫郵便局内「君ヶ崎ギャラリー」に、私のパステル画を展示させて頂きました。私と絵画との出会いは、定年を数年後に控えて、余暇の善用を考えていた時、旧友から絵を描く手ほどきを受ける機会がありました。油彩で描き始めて10数年後、パステルの色調に魅せられ、今ではパステル画を描いております。私にとって絵を描くことは、日々の暮らしの中のしがらみから一時開放してくれる気分転換の時間であり、趣味として楽しむことにしています。ただ目下の悩みは、こればかりは避けて通れませんが、年とともに、気力はあっても、衰える体力に描くスピードが遅くなったことです。





『横浜金沢を詠う』

平成25年度後期

俳句・短歌(第11回)表彰式

横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員会主催の「俳句短歌ポスト制度」第11回(平成25年度後期)表彰式が平成26年4月28日(月)、金沢区民活動センターで行なわれました。次に被表彰作品を紹介します。

【俳句の部】

☆横浜市金沢区長賞

(天位) どんどの火燃えて野島の影ゆらぐ

(地位) 琵琶島や魚籠の小鯊に小糠雨

(天位) 釣り船も休みて静か冬の瀬戸

(地位) 茅葺きの素秋の庵の佇まひ

(天位) 釣り人の笑顔のをせ来る初帰帆

(地位) 連れ立ちて「金沢文庫」文化の日

(天位) 平潟へ春光砕き舟帰る

(地位) 心経に空解かれをり梅ひらく

(天位) 朝もやの野島の海に若布刈る

(地位) 二松庵氷雨に濡れる焼け柱

(天位) 磯野 鎮雄

(地位) 室田 辰憲

(天位) 森川 享

(地位) 本間 和子

(天位) 山野 洋子

(地位) 狩野興太郎

(天位) 大川 一馬

(地位) 金子三枝子

(天位) 金子三枝子

(地位) 金子三枝子

(天位) 金子三枝子

(地位) 金子三枝子

(天位) 金子三枝子

(地位) 金子三枝子

(天位) 金子三枝子

(地位) 金子三枝子

(天位) 金子三枝子

(地位) 金子三枝子

(天位) 金子三枝子

(地位) 金子三枝子

(天位) 金子三枝子

(地位) 金子三枝子

(天位) 金子三枝子

(地位) 金子三枝子

(天位) 金子三枝子

(地位) 金子三枝子

(天位) 金子三枝子

(地位) 金子三枝子

(天位) 金子三枝子

(地位) 金子三枝子

(天位) 金子三枝子

【短歌の部】

☆横浜市金沢区長賞

小正月「尊や尊」の掛け声で

波打ち際に火柱上る

金沢区六浦東 高橋 正毅

☆横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員会賞

富岡の鎮守の社の神さびて

梢吹きくる風の清しき

金沢区富岡西 金子三枝子

☆横浜金沢文化協会理事長賞

閉園後の動物園の坂道に

台湾リスが群れなし遊ぶ

金沢区金利谷東 秦 正子

☆横浜金沢観光協会賞

クリスマス・イブならではの電飾が

夢ときらめくシーパラダイス

岩澤 正春

☆横浜金沢シテイガイド協会理事長賞

初春の光をあびてカモメ翔ぶ

柴の港に舟の白波

金沢区金利谷南 飯山 覚志

文芸部活動報告

☆金沢区民俳句大会結果☆

金沢俳句会では6月1日(日)、金沢地区センターに39人の俳句愛好者を集めて、第16回「金沢区民俳句大会」を開催しました。次に上位の作品を紹介します。

- 大谷 祥二
- 戸田 澄子
- 森川 享
- 松村 一女
- 田中 徳明
- 山本かつみ
- 柴崎 幸治
- 田所 正章
- 惣野 圭子
- 滝沢いみ子

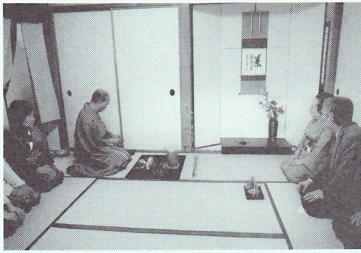
☆金沢区民短歌(春季)大会結果☆

金沢区民歌人会では4月27日(日)、八景コミュニティハウスに26人の短歌愛好者を集めて、金沢区民短歌大会(春季)を開催しました。次に上位の作品を紹介します。

- 田中 正子
- 間々田広枝
- 小林 愛子
- 藤田 絹子
- 佐藤 良二
- 室田 栄吉
- 秦 正子
- 笹村 律子



ライオンズクラブ慈善茶会



4月13日、三溪園鶴翔閣にて、ライオンズクラブ主催による慈善茶会が開筵された。園内の桜は染井吉野から八重桜へと移り、艶やかに青空に映えていた。今回は抹茶席と煎茶席の5席が設けられ、煎茶席は金沢煎茶道会が担当した。茶席では松栄堂の「微笑」のお香が焚かれ、床には黄蘗山万福寺第58代管長奥田行朗猯下の書「茶烟永日香」の幅が掛けられ、南蛮壺に八重桜が生けられた。お菓子は松江の「ひとひら」を取り寄せ、青磁の器に盛って散りゆく桜をイメージした。宇治の玉露を味わいつつ、ある席では入席していた色鉛筆植物画の川浪舎人氏が鶴翔閣の前庭に群生していた日本タンポポと西洋タンポポの違いを説明して、煎茶席に相応しい話題に花を咲かせていた。

4月20日、金沢野島にある「旧伊藤博文金沢別邸」にて、春の茶会が、裏千家中村宗成先生のお席で開かれました。気候の不安定な日が続き、寒くなったり暖かくなったりでしたが、茶会当日は、天気も良く、庭の牡丹は五分咲きの穏やかな日でした。優心棚と言う弓矢を利用した珍しく変わったお棚に、お席も腰掛を用意して頂き、お道具のお話を聞き、ゆったりとしたお茶のひと時でした。別邸近くの海岸は、汐干狩りの人達で大変賑わっていました。



旧伊藤博文金沢別邸茶会

本年も3月に入り、梅の花も満開となりました。3月2日、金沢茶道会による恒例の「横浜三溪園春の大茶会」が行なわれました。回を重ねて21回目となる今回は、横浜ポートヒルライオンズクラブの四十周年の祝いにもなっております。当日は朝から恵みの春雨となりました。喫客の皆様は早朝よりお出まし頂き、春の一日を楽しまれている様子でした。和室三席、立礼席一席を設けましたが、それぞれの席の「ひな祭り」「お花見」「祝い」など、席主方の心づくしの趣向を、喫客は堪能されています。



三溪園 春の大茶会

八景島あじさい祭り茶会

6月21日(土)・22日(日)の2日間にわたり、八景島シーパラダイスの客船ターミナルで、金沢茶道会が、あじさい祭り茶会を催しました。以前は、あじさいの丘にテントを張って行っていました。3年前から客船ターミナルに場所を変更しました。当初は場所の周知度が低かったのですが、今年は161人と、大勢のお客様にお茶をお出しすることが出来ました。朱傘に「日々是好日」の短冊を掛け、花入に蒔草・和美蓉・白のしもつけを生けました。窓の外には遠くに房総半島が霞み、沖には大きな船が往来し、すぐ傍には色鮮やかな紫陽花が咲いていて綺麗でした。大勢のお客様に、鳳月堂の紫陽花饅頭とお茶が美味しいと喜ばれて、ホッとした2日間でした。



第2回ユーロ・ネオマリカ演奏会

5月22日(木)、「ひまわりの郷」にて第2回ユーロ・ネオマリカ演奏会を横浜金沢文化協会の後援をいただき無事終えることが出来ました。平日にもかかわらず、大勢の方にお越し頂き、有難うございました。プログラムは、中田喜直作曲の童謡曲集、信長貴富作曲「うたをうたうとき」、木下牧子作曲「アカペラコーラス」、その他「見上げてごらん夜の星を」「あの鐘を鳴らすのはあなた」など全26曲でした。今回は全曲暗符で歌う大変さ、ハーモニーを創り上げてゆく難しさ、歌詞に感動と驚きを覚えながら歌う楽しさを感じる事が出来ました。これは私達にとって大きな喜びにもなりました。ここに至るには、日頃の練習でご指導して下さいる佐伯先生が、身体のウォーミングアップから始まり呼吸、発声、歌と進んで行きますが、悪い見本、良い見本、ユニークなジェスチャーを交えながら分かり易く、時に抽象的?に教えて下さるからです。これからも、少しづつですが良いハーモニーを目指して、楽しみながら歌い続けて行きたいと思っております。





第13回

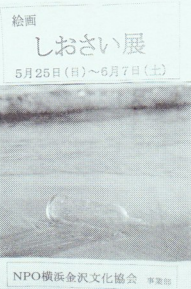
瀬戸神社居合道奉納演武

風薫る5月17日(土)、由緒ある瀬戸神社で今年も居合道奉納演武が執り行われました。一人でも多くの方に見てもらおうと、13年前にスタートした演武会。「心身を練磨し、礼を重んじる居合道の精神を青少年にも伝えていきたい」と、主催の実行委員会代表、夢想神傳流第廿世正傳・高田學道先生は語ります。10流派約60名の剣士が一堂に修練を披露する境内は多くの見学者で埋まりました。居合道の歴史は約450年前の室町時代に始まり、心、姿勢、技のもと不意の攻撃に即座に応じ、刀を抜いた時にはすでに相手を制している“鞘ばなれの一刀”で勝負を決める日本古来の剣技です。紋付き袴で身を固めた小学生剣士

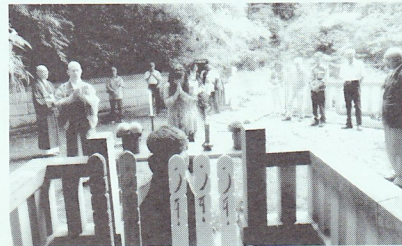
から80代の長老剣士、さらにフィンランドや米国から来日した外国人剣士たちの見事な演武に、来場者から、「気合いと迫力に背筋がピンとした」「もう少し大きくなったら子どもに習わせたい」など感激の声が上がりました。

第2回 しおさい展

第2回「しおさい展」が、5月25日から6月7日の二週間、金沢区民活動センターにて、新たに2人の仲間が加わって開催されました。同センター展示コーナーには、6号から20号の静物・動物・風景などの絵画の力作10点が、作者の思いがしっかりと込められて展示されました。



文化協会役員・町内関係者をはじめ、今回は「タウンニュース」の記事で知った歴史愛好家による墓参が行なわれました。



畠山重保公顕彰墓参会

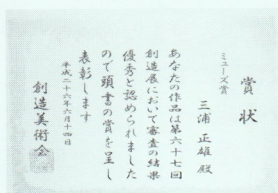
鎌倉時代、源頼朝の重臣だった武將の畠山重忠の嫡男・畠山一郎重保公は、釜利谷の曹洞宗竹畠山禅林寺の境外墓地(廟所)に祀られています。昨年に続き今年6月22日の同公の命日に、横浜金沢文化協会主催により、白山道トンネル北側にある畠山重保公廟所にて、東光禅寺・禅林寺両住職の読経による法要が営まれました。続いて

川浪舎人会員の 色鉛筆植物画展

今年5月のゴールデンウィーク後半の5日間、神奈川県立大船植物園にて、植物画展を開催し、二千人以上の方が鑑賞してくれた。子どもの頃に良く遊んだ「エノコログサ」「ススキ」「ツクシ」「フキノトウ」の色鉛筆による成長過程を見た人は、当時の山菜取りを思い出して懐かしそうだった。また「セイタカアワダチソウ」や「ヨモギ」など枯れたのを描いた作品には、涙ぐんでいた人もいた。誰もが触れたことのある身近な植物には、それぞれの思い出があるもので、私はそれらの植物の生長に感動を覚えつつ描き続けている。「そっと語りたく」「そっと触れたく」をテーマに描き、多くの方々に夢と感動を与えたいと思っている。



《鑑賞記》
三浦正雄会員(絵画部)の 神奈川創造展への出品
絵画部の三浦会員の作品が「創造美術会」神奈川県支部が主催の第42回「神奈川創造展」に出品されたこと知り、朝から酷暑の7月16日、みなどみらい駅構内の「サブウェイギャラリーM」へ足を運び鑑賞させて頂いた。会場へ一歩入ると、絵画音痴の私でもその見事さに圧倒されそうな作品のオンパレード。その中でも特に目立ったのが、我が三浦会員の大きい洋画。一目見て、北海道釧路湿原を俯瞰した絵だと実感。題名は「飛来」で、湿原上を白い鳥が飛んでいる図柄。この作品は「全国創造展」でミューズ賞を受賞した作品と後日知ったが、鑑賞して心が綺麗な水で洗われたような実に清々しい気持ちになり、見終わった後、炎熱の戸外へ出たが、暫し涼しさを感じていた。



(K・N)

歴史と文化の薫る街づくり NPO法人横浜金沢文化協会 会員を募集中です

当協会は、武蔵国金沢以来の伝統をふまえ、次世代を展望しつつボランティア精神をもって、地域文化振興の中核となる事業を行い、各種の文化活動を通じて、地域文化の総合的發展に寄与することを目的としています。

活動の種類

- 学術、文化、芸術の振興を図る活動
- 社会教育の推進を図る活動
- まちづくりの推進を図る活動
- 子どもの健全育成を図る活動、その他

事業

- 地域文化振興の中核となる事業
- 歴史、史跡、文化財等の調査・伝承・保全事業
- その他、当法人の目的達成に必要な事業

活動部門

- ◎総合文化部 ◎絵画部 ◎書道部 ◎写真部 ◎手工芸部 ◎文芸部 ◎歴史部 ◎楽器部
- ◎合唱部 ◎声楽部 ◎邦楽部 ◎吟剣詩舞部 ◎華道部 ◎茶道部 ◎郷土芸能部 ◎謡曲部
- ◎民謡民舞部 ◎陶芸部 ◎邦舞部 ◎洋舞部 ◎朗読部 ◎武道部 ◎児童文化部 ◎一般文化部

年会費

- 個人 2,000円
- 団体 7,500円(会員25人以下)
- 10,500円(会員26人~50人)
- 15,000円(会員51人以上)

横浜金沢文化協会の個人または団体が行う行事で、当協会の共催または後援が必要な場合は、申請書の審査により、名義使用の許可と、資金援助を年1回限度で実施しています。

会員の募集

主として金沢区に居住・在勤・活動されている方で、当協会の目的に賛同し、活動またはご協力等を頂ける個人または団体の皆様。入会及び問合せは、右記「問合わせ先」まで、ご連絡願います。

問合せ先

NPO法人横浜金沢文化協会
事務局長 深津米男
電話 045-782-0705

☆☆金沢区に文化ホールを☆☆

第13回 チャリティー 金沢スプリングコンサート*

4月12日、金沢公会堂にて、第13回金沢スプリングコンサートを開催しました。例年通り今年も沢山のお客様にご来場頂きまして誠にありがとうございました。低予算ながらチャリティーコンサートとして成り立っておりますのも、毎年楽しみにして来て下さるお客様と、無償で裏方を支えて下さる大勢の方々のおかげと、心から感謝申し上げます。今年のプログラムは、前半は馬年にちなんで馬が登場する日本の歌、後半はオリンピックで日本を沸かせたフィギュアスケートで日本人選手が滑った曲等を盛り込み、ジャズやシャンソンのナンバーからミュージカル、オペラまで、ソロとアンサンブルで構成しました。ソリストはアルトに田中正子さん、テナーに佐藤敦史さん、バリトンに根岸一郎さん、そしてピアニストに西村晶子さんをお迎えし、お客様と共に会場を盛り上げて頂きました。企画は小幡正雄様、浅野賢一様、和田大雅様でした。(ソプラノ佐伯葉子・記)

**第13回 チャリティー
金沢スプリングコンサート**
懐かしあの歌をあなたと♪

日時 2014年4月12日(土)
午後3時開演 2000席

会場 金沢公会堂

主催 金沢スプリングコンサート実行委員会

共賛 金沢ふれあいコンサート実行委員会
金沢文化協会 / 金沢区公民会

を終え、青空の下に屹立する八景島と、その前の青い明るい湾と、復元された木造の別邸を交互に望むと「風光明媚」そのもので、汗も急速に引いてゆく清々しい感じに捉われた。



旧伊藤博文金沢別邸運営協力会主催の同別邸「復元五周年記念祭」を間近に控えた8月3日(日)午前、同協力会による除草作業が、同別邸の牡丹園側で行われた。従事したのは、横浜金沢文化協会スタッフ・「野島の花の会」会員などの計25人。快晴に恵まれた野島の海は青く、遙か房総まではつきりと望見されたが、木漏れ日の牡丹園は炎暑で、汗を流しながらの除草作業となった。この時期の牡丹園に咲く花は、群れをなす「蛇の髭」くらい。汗だくの共同作業

旧伊藤博文金沢別邸の清掃活動

を終え、青空の下に屹立する八景島と、その前の青い明るい湾と、復元された木造の別邸を交互に望むと「風光明媚」そのもので、汗も急速に引いてゆく清々しい感じに捉われた。



「範頼の生涯について」の講演があった。赤ひげ先生は隠居後、金沢は瀬ヶ崎・三艘に住し、風流を好み、「山にいては海を語り、海にいては雲を語る」との言葉から「雲語り」と名乗り、遺言により、太寧寺に墓が建てられたものである。

赤ひげ先生 第二五五回忌法要

旧伊藤博文金沢別邸運営協力会主催の同別邸「復元五周年記念祭」を間近に控えた8月3日(日)午前、同協力会による除草作業が、同別邸の牡丹園側で行われた。従事したのは、横浜金沢文化協会スタッフ・「野島の花の会」会員などの計25人。快晴に恵まれた野島の海は青く、遙か房総まではつきりと望見されたが、木漏れ日の牡丹園は炎暑で、汗を流しながらの除草作業となった。この時期の牡丹園に咲く花は、群れをなす「蛇の髭」くらい。汗だくの共同作業

文化協会行事予定(日程順)

3月22日(日) 金沢公会堂 文化協会設立20周年記念式	3月1日(日) 三溪園 春の大茶会	2月28日(土) 野島公園 海苔づくり教室	2月22日(日) 金沢公会堂 グループ組曲「ファミリーコンサート」	1月18日(日) 金沢公会堂 衆議院長・衆議院議員三ツ野浩二氏コンサート	12月14日(日) 金沢公会堂 金沢区民文化祭・金沢区小・中学校音楽祭	12月7日(日) 金沢公会堂 金沢区民文化祭・金沢区日本舞踊連盟公演	11月下旬 八景コミュニティハウス 金沢区民短歌大会	11月30日(日) 金沢公会堂 「なぞい」クリスマス・チャリティ・コンサート	11月22日(土) 27日(木) 能登台地区センター 第7回金沢区美術展	11月16日(日) 金沢公会堂 ロマンチックかなざわ・絆コンサート	11月3日(月) 祝 金沢公会堂 金沢区民文化祭・金沢三曲演奏会	10月31日(金) 金沢区民活動センター 第12回「金沢を詠う」俳句短歌表彰式	10月26日(日) 旧伊藤博文金沢別邸 旧伊藤博文金沢別邸復元五周年記念祭	10月26日(日) 長浜公園 第25回金沢区民俳句(吟行)大会	10月19日(日) 金沢公会堂 金沢区民文化祭・金沢区音楽のつどい	10月17日(金) 23日(木) 金沢区民活動センター 色鉛筆植物画展	10月12日(日) 金沢地区センター2階和室&ロビー 金沢区民文化祭・茶会	10月11日(土) 12日(日) 金沢地区センター大会議室 金沢区民文化祭・華道展	10月10日(金) 14日(火) 金沢地区センター体育館 金沢区民文化祭・区民の作品展	9月24日(水) 30日(火) 磯子区民文化センター 第29回金沢区書道協会展	9月10日(水) 18日(木) 金沢区民活動センター 色鉛筆植物画展
(782) 0705	(788) 0988	(782) 0705	(783) 9740	(788) 2691	(771) 6167	(784) 4353	(782) 1055	090 7189 5298	(783) 5299	(788) 4082	(781) 1483	(781) 5044	(788) 1919	(783) 2284	(771) 8783	090 5435 7300	(788) 0988	(783) 4528	(788) 2806	(701) 4964	090 5435 7300

予告!!

NPO法人 横浜金沢文化協会 設立20周年記念事業

2014・秋 ロマンチックな かなざわ・絆コンサート

日時 平成26年11月16日(日)
午後1時30分～

場所 金沢公会堂

出演 ☆横浜中学・高等学校吹奏楽部
☆オペラ歌手 飯田 裕之
☆スタンダードポップスシンガー 荒川 和子

入場料 1,000円(前売券のみ)

20周年記念式典

日時 平成27年3月22日(日)
午後1時00分～

場所 金沢公会堂

行事 ☆式典
☆文化講演会
☆文化フェスティバル(発表会)

☆会員の皆様の積極的な
ご支援・ご協力をお願いいたします☆

個人会員紹介



朗読部 橋 有美
朗読の原点は、もし
かしたら、幼少の頃、
今は亡き姉の創作語り
を聴いたのにあるかも
しれません。フリーの

アナウンサーとして活動しつつ、演技を
学び、自然に朗読の道へ。読み聞かせで
もなく、音読でもなく、舞台朗読として
の語りをもろろん学校、施設等でのポ
ラントシアも致します。朗読教室を開い
てまだ3年目ですが、生涯学習としての
朗読文化を金沢区に広めたく、他のグル
ーの方々と共に、新公会堂完成に向けて
金沢区朗読公演会を立ち上げるのが私の
夢です。皆様のご指導、ご協力を宜しく
お願い申し上げます。

個人会員紹介



歴史部 塚本 眞砂子
心掛けているのは、
『郷に入れば郷に従え』
言葉、習慣等々を見聞
きするだけでなく、積

極的に体験も行うようにしています。金
沢区の歴史を学び、その魅力を多くの
人に伝えたいと活動しているのは、ここ
から生まれているのだと思います。また、
歴史は長い年月をかけて、多くの方々の
様々な人生ドラマが積み重ねられてき
ていると考えています。いつか、歴史の
一部になるかもしれない人生を少しハラ
ハラ・ドキドキしながら送りたいもの
です。

編集後記

文化協会設立以来、会報「しおさい」に
より、編集委員や皆様の努力により活動
の場や交流の輪を広げて来て、早くも20
周年が来ようとしています。更なる活躍
により歴史と文化の薫る街金沢を盛り上
げて行きたく、皆様のお力添えをお願い
します。(M・G)

編集委員

阿部きみえ・一之瀬焔次・榎本あけみ
川浪 舍人・小櫃 健一・橘川 和夫
後藤 政也・佐野史瑞子・白井 俊一
鈴木 稔・田宮 初重・野中 建吾
橋本 藤子・坂 直孝・深津 米男
森川 淳子 (五十音順)